

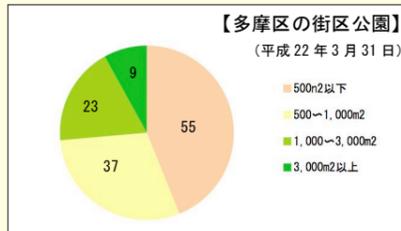
調査・検討の概要

1 公園の現状の把握

(1) 多摩区の公園

多摩区には 160 ヶ所の公園緑地があり、身近な公園である街区公園は 124 ヶ所で多摩区の公園の約 80%を占めています。

公園は面積が 1,000 m²以下のものがほとんどで、子育て世代の親子や子ども、高齢者を中心に、散歩・休憩や遊び、運動等に利用されています。

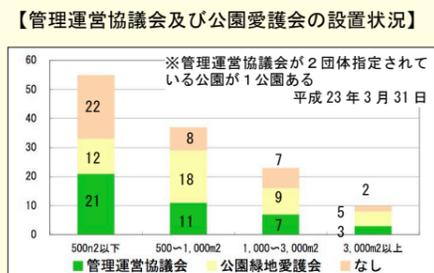


(2) 管理運営協議会と公園緑地愛護会 (公園の管理)

地域の団体と川崎市との協働で維持管理されている街区公園は 86 公園あり、多摩区全体の約 70%となっています (平成 23 年 3 月時)。

公園を管理する団体は「公園緑地愛護会」と「管理運営協議会」があり、多くの団体は自治会・町内会などを中心に各地域で運営されており、公園の清掃や除草などの活動を行っています。

また、管理運営協議会は地域の活動団体等からの利用申し入れに関する利用調整も行っています。



(3) 公園を利用した地域の活動

区内の公園では、地域のコミュニティづくりの場としてイベント・祭り等に活用されているほか、多くの団体が、公園を利用して様々な活動を次のように行っています。

【町内会・自治会等の地域でのイベント・祭り等】

- ・地域での交流や安全・安心の取り組みの場として、夏祭りや防災訓練、夏休みのラジオ体操等が行われています。

【多摩区みんなの公園体操】

- ・地域住民の健康づくりと介護予防を目的として、多摩区みんなの公園体操運営委員会により行われています。

【思いっきり外遊び】

- ・公園などの自然環境の中で、こどもの創造力を培う「こどもの外遊び」を多摩区こどもの外遊び委員会が実施しています。

【たまたま子育てネットワークの活動】

- ・多摩区内で公園利用者 (子育て世代) への情報支援活動として、公園情報のホームページでの公開等をたまたま子育てネットワークが行っています。

2 公園を拠点とした地域のコミュニティ活性化の目標及び検討内容の確認について

(1) 「多摩区公園を拠点としたコミュニティづくり検討委員会」において、公園での地域のコミュニティの活性化の目標や取組内容について確認しました。

【地域づくりの目標】

- もしもの時に安全・安心が図れるまち
- 様々な世代が交流するまち
- 健康づくりが楽しめるまち
- 地域の担い手が育つまち

公園での様々な世代が顔見知り関係を広げるための取組「きっかけ」づくりを進めます。

(2) 地域づくりの目標に向けて、平成 23 年度は「きっかけ」を探るため、次の内容について、検討委員会で調査・検討を行うこととしました。

- 公園を管理・利用している団体へのアンケート調査
- 公園の活用事例等の調査
- 団体間連携・交流の推進方法の検討
- 公園情報の発信方法の検討

3 アンケート調査、事例調査の実施

(1) アンケート調査を、「区民全般」「子育てサークル」「管理運営協議会・公園緑地愛護会」を対象に行いました。

- 地域の方との顔見知りの関係づくりの場として公園はふさわしいかという質問では、公園利用者・団体及び公園管理団体の多くが「公園は地域の顔見知りとなる関係づくり」の場所としてふさわしいと回答しています。

理由としては、公園の特徴である「気軽に立ち寄れる」「年齢に関係なく利用できる」「様々な人と出会える」「自由に使える」などとなっています。

- 公園での顔見知り関係づくりへの参加に関する質問については、多くの人が参加したいと回答しており、また、参加したい活動については、「世代間交流 (イベントや祭り等)」「公園で活動する団体間の連携」「情報提供・情報発信」となっています。

(2) 公園におけるコミュニティづくり等の活動事例調査は、多摩区内の公園で行われている地域主体の活動や特色ある活動を対象に具体的な内容及び課題等を把握し、今後の公園での取組の参考とすることを目的に「地域コミュニティづくりの場として活用される公園」「公園を利用した活動」「公園利用者 (子育て世代) への情報支援活動」などが行われている公園や団体に実地調査や聞き取り調査を実施しました。

(3) アンケート調査結果などから、公園での活動に関する課題を抽出しました。

- 公園からの情報発信

- 子育て世代への取組

- 地域主体の取組

4 公園を拠点としたコミュニティづくりの活性化方策の確認

(1) アンケート調査や事例調査の結果を踏まえて、公園を拠点としたコミュニティづくりの活性化方策について検討を行い、取組内容の基本的な方向性について新たな取組を進めるにあたっての体制や広報などの留意事項について次のとおり確認しました。

【公園で顔見知り関係を広げる「きっかけ」づくり (取組内容) の基本的な方向性】

「きっかけ」1 現在の公園での活動の発展 (既存の各団体の公園での活動の推進等)

「きっかけ」2 新たなきっかけの掘り起こし、取組 (世代間交流「イベント・祭り等」の取組の展開)

【世代間交流 (イベント・祭り) に取り組むための留意事項】

① 【地域での話し合い：公園で行う取組「きっかけづくり」を地域のコミュニティの中で位置づける】

② 【活動しやすい運営体制】

- 【誰 (団体) が中心になって取組を進めるのか】
- 目的を達成するためには
 - ・どんな人の参加が必要か
 - ・様々な団体と連携する必要があるのか

③ 【取組への協力団体 (者) の協体制】

- 【取組を推進するための地域での団体・人的協力】
- 取組を進めるための団体、人は地域にいるか
 - 取組の主催者や団体のネットワークの活用
 - 企画・運営への子どもの参加

④ 【取組への専門的な活動団体 (者) の支援】

- 【専門的な活動や新しい取組を行う場合】
- 多摩区内外で活動する団体からの支援
 - 専門的な活動団体による世代間交流 (イベント・祭り) の取組への協力

⑤ 【取組や活動の広報等、情報発信】

- 【取組の周知性を高めるには】
- 活動の広報及び活動報告
 - 情報発信支援団体とのネットワーク
 - 継続的な活動

5 平成 24 年度の取組について